



美しい熊本づくり運動
シンボルマーク

太陽と豊かなみどり、清らかな流れをデフォルメしたもので、色彩は太陽が赤、森と水が緑です。製作は、美術文化協会、ICTA会員の友枝翁太郎氏に委嘱したものです。



▲休みの日は、押しかけるハイカーたちで賑わう（峠の茶屋付近）



▲野鳥のさえずりが楽しい小径（自然休養林）

▼「漱石館」はひなびた風景の中にある



金峰の山道

ある日曜日……朝から空は青く澄み木のみどりが目に鮮やかだ。快い目覚めに、きょうは子供たちでも連れて山に登ろうかと思う。……たとえば、西の連山はそんな思い立った心で歩く山だ。金峰の山道は高さのわりには山の深さを感じさせない。頂上に近い杉林には散策道が縫うように走り、メジロ・ウグイスが枝を渡り鳴きかわす。

山頂の展望台からは眼下に熊本の町がひろがり、遠く阿蘇連峰も見える。

踵（くびす）を返すと西側は静かな海だ。山を越えると河内の港に着く。

この港に立てば、いくつかの帆船が、午後の日光を浴びて静かにまどろんでいるように見える。ここには、歴史が息づく。

漱石が泊った那古井の旧旅籠や漱石館も近くにあるし、武蔵が「五輪の書」を書くためにこもったという岩戸雲巖寺もある。

遠く、二の岳、三の岳をたどれば、西南役の古戦場もあり、耳をすますと軍馬の轟きも響きそうだ。

帰りに西の山なみを振り返ってみよう。そして、幼い子供たちにも振り返ってみせよう。

そこには、熊本の町に住む人たちだけが知っている連峰がある。何世代にわたって心こもってきた連峰の姿がある。

座談会

目次

美しい熊本づくり運動をどう進めるか……………八

★黒田正己、荒木精之、今江正知、藤坂信子、沢田知事

▲ルポ▽ 球磨川と自然を守る市民の会……………一五

この人と30分 ガラスの王様……………二九

森本貫一（旭硝子相談役）

★特集★ これからの酪農

1、酪農の現状と問題点……………三三

2、今後の見通し……………三四

3、私の発言……………三四

4、ルポ・若い酪農家……………三六

★集中豪雨・復興に全力……………二五

★随想欄——田副敏郎・伊藤たかし・福原満守子……………六

グラフィページ

★郷土を美しくしよう……………一七

★カラー熊本……………二〇

★県立教育センターを訪ねる……………二二

★特報・集中豪雨のつめあと……………二三

★西原牧場ほか……………三七